

議長会要望事項調査票

記入者（日本共産党目黒区議団）

【要望区分】（該当する要望区分にチェックし、要望先を記入してください。）

■特別区議会議長会が独自に行う国への要望（農林水産大臣あて）

□特別区議会議長会が独自に行う東京都への要望

□全国市議会議長会を通じて行う要望

【優先順位】

2位

【件 名】

米の価格保障や所得補償の充実により、農家が安心して米づくりに取り組める政策への転換を求める要望

【要望内容】

米の消費者価格は高止まりが続き、前年比で大幅な上昇となるなど、区民生活に深刻な影響を及ぼしている。学校給食や福祉施設等においても調達への不安が広がり、家計のみならず公共サービスにも影響が及びかねない状況である。

背景には、需要減少を前提として生産量を抑制し、流通や価格形成を市場に委ねてきた農政のあり方がある。生産者米価は長期にわたり低迷し、コロナ禍による需要減少時には大幅な価格下落が生じた一方、わずかな需給変動で価格が急騰するなど、不安定な構造が顕在化している。

直近の主食用米の需要量に対し収穫量が不足したことも価格高騰の一因とされるが、その根底には減反政策等による作付面積の縮小がある。稲作農家はこの四半世紀で大幅に減少し、米の生産量も減少を続けている。農業所得は極めて低水準にとどまり、倒産・廃業の増加が指摘されるなど、担い手の確保は危機的状況にある。将来にわたり国民の主食である米の安定供給を確保するためには、市場任せの政策から転換し、農家が安心して米づくりに励むことができる価格保障・所得補償制度の確立が不可欠である。

よって、下記事項を強く要望する。

1. 稲作農家に対し、米の価格保障および所得補償を柱とする農業政策へと転換すること。
2. 多少の不作や需要増が生じても供給不足に陥らないよう、必要な生産量および備蓄水準を確保すること。
3. 豊作等により供給が需要を上回った場合には、国が適切に買い上げ、備蓄に回す仕組みを確立すること。

